

《企画書》

提出者 陽子

《 タイトル 》 日本人が知らない親日中東イスラム諸国の
素敵な文化や美味しいお料理の作り方

《概要》

多くの日本人は、中東の国々に「イスラム教の戒律が厳しく女性が不自由に暮らしている」「中東は全く未知の世界」というイメージを持たれているかも知れません。

しかし、日本からは遠いこれらの国々はとても親日な人々が多く、日本の国と日本人に親しみを込めた良い印象を持ってきています。

そして、日本人が忙しさのあまり薄れてきた人々との繋がりが今でもとても深く、家族はもとより、友人、道で会った見知らぬ人同士に至るまで、挨拶から始まり立ち話に花を咲かせる光景は、街の至る所で日常的に見られます。人と人との生身の絆がこの現代でもとても深いのが中東イスラム諸国です。

この企画書を提出致します私、陽子が、そんな中で実際に20年程暮らし、現地の人々から教わった日本人の口に合う美味しいお料理の作り方や、面白い言い伝え、女性の美容法、占星術と中東の国との関係、人々の暮らし等、私の目線からみた中東を日本の人々にお伝えし、親日な中東の人々の文化に少しでも興味を持って頂き、日本と中東イスラム諸国との絆が深まれば、少しずつ世界の平和に近付いていけるのではないかと思い企画致しました。

《想定読者ターゲット》

- ☆中東の人々や文化に興味を持たれた方なら十代からでも読んでわかりやすい様にするつもりです
- ☆中東の美味しいお料理の作り方に興味のある方
- ☆占いに興味のある方
- ☆中東の美容法に興味のある方

《構成案》

第1章 中東のイスラム諸国は親日諸国

- ・日本独自の文化や精神は西側の国の中でも特殊な地位にいる！
- ・人との繋がりで一日が始まり人との繋がりで終わる毎日
- ・俳優三船敏郎さんは日本人男性の代表！？

第2章 イエメンの美味しいお料理の作り方

- ・アラブの料理の中で美味しいお料理と言えばなんと言ってもイエメン料理！
アラブ人も大好きイエメンの美味しいビーフシチューを写真付きレシピで紹介
- ・モカコーヒーの発祥地イエメンのモカ

第3章 イランの美味しいお料理の作り方

- ・日本人の口に合うイランの美味しいお料理を写真付きで作り方を紹介
- ・日本で手に入る材料で簡単に作れる美味しいレシピ

第4章 イランのサフランあれこれ

- ・女性必見！サフランは美容アンチエイジングに最高！
 - ・サフランを使った飲み物等の簡単レシピを紹介

第5章 レバノンの美味しいお料理の作り方
・美味しいレバノンのお料理を写真でレシピ紹介

第6章 占星術とイラン
・イランと占星術の関係
・イランは西暦では無くイラン暦
・天空の星の動きと共に暮らすイランの人々

第7章 中東の不思議な占い コーヒー占い
・コーヒー占いを写真付きで数例紹介
・自分で出来る！コーヒー占いのやり方を写真で紹介

第8章 中東イスラム諸国との絆が日本を救う！

《サンプル原稿》

はじめに

中東と聞くとどんな単語が思い浮かびますでしょうか？
真っ先に、「砂漠」という単語が浮かばれる方は、日本人の中でも人生の大先輩の方々で、「月の沙漠」の唄と共に、横山大観のシルクロードの駱駝の絵の様な情景も思い浮かばれる方もいらっしゃるかも知れません。

或いは、「アラビアのロレンス」のワンシーンを思い出される方もいらっしゃるでしょう。

しかし、大先輩以降の日本人には「月の沙漠」の名前も知らない人達も多くなり、それよりも中東と言えばドバイ、ドバイと言えば Yes 高須様がヘリコプターで優雅に飛んでいらっしやったCMを思い出される方が多いかも知れません。

そして、世界情勢にご関心をお持ちの方々には、「常に紛争の多い、

不安定な情勢の国々」と、ネガティブなイメージを持っていらっしゃる方も多いと思います。

ですが、日本人にはあまり馴染みの無い中東のイスラム諸国は、大変親日な人々が多く、今の若い日本人では知らない昔の映画や、アニメ等を中東の小さな子供達が良く知っています。例えば「みなしごハッチ」や「母を訪ねて三千里」などの昔のアニメを子供達がみんなと一緒にテレビの前に座わり、見入る光景はとても可愛らしく微笑ましいものです。

今回私がこの本で取り上げる国々は、ドバイのような煌びやかな国では無く、イスラム教を守りながら素朴に暮らす人々の国で、素敵な文化や美味しいお料理の作り方、占星術との関係などを、面白い言い伝えを織り交ぜながら皆様にご紹介したいと思います。

お料理は、日本でも手に入る材料を使い簡単に作れるように紹介していますので、是非作ってお家で中東の気分を味わってみてください。

きっとこの本を読み終えた頃には、皆様が知らなかった中東の魅力に気付かれる事と思います。

全部で八章ございますが、どこの章から読んで頂いても判るようになっていきます。

気になる章からどうぞお読み進め下さい。

それでは、暫し中東への旅へ行ってみてらっしゃいませ。

第七章 中東の不思議な占い コーヒー占い

占い好きな方はご存じかと思いますが、中東にはコーヒー占いがあります。

ですが、イスラム教は一切の占いを禁止していますので、表で占いを商売にする事は出来ません。(トルコ等では占い師も公然といます) しかし女性達は占いを好きな方も多く、占いをする

人を家に呼び、数人で娯楽としてコーヒー占いをする事もあります。

コーヒーを飲んだ後にカップとソーサーに出る柄を見て占うという、大変視覚的な占いですので、毎回見る人によって捉え方もバラバラで、ですからこれを真剣な答えを求めるのでは無く、出た柄を「これは鳥だ」「花に見える」等と女性達はおしゃべりしながら遊びとして行っています。

(コーヒー占いのやり方)

- 用意する物
- ・デミのカップ
 - ・コーヒーをゆっくり煮詰める小さな柄杓型の鍋
- (下写真)
- ・パウダー状にまで挽いたコーヒー豆
 - ・お好みでお砂糖少々



↑写真のお鍋にコーヒー豆とお水を入れ弱火から中火で煮立たせないようにゆっくり煮出す
コーヒーを甘くしたい場合は、お砂糖を少々(お好みの量)や角砂糖を入れて下さい。

(以上サンプル文章になります。どうぞ宜しくお願い致します。)